

水陸両用バス導入協議会

平成20年5月15日設置
平成21年3月24日連携計画策定

現状及び課題

- 日光市栗山地域の主要産業は観光と公共事業となっているが、ともに厳しい状況となっている。
観光：湯西川温泉宿泊者数がピーク時より約44%減少(約40万人<H6>→約22.3万人<H21>)
公共事業：湯西川ダム以降の大規模事業なし
- 公共交通：湯西川温泉駅乗降者数が過去約15年で約33%減少(約15万人<H7>→約10万人<H21>)

活性化の目標・方向性

- 湯西川ダム完成後、ダム湖を活用した水陸両用バスの観光ルートを開拓し、公共交通としての実現を図ることにより、観光客の流入を促すと共に既存公共交通と連携し地域内の回遊性向上を図る。

実施する事業の内容

- 水陸両用バス実証運行(平成22年度:4月27日～11月30日)
 - ◆通年運行に向け、実証運行期間を延伸し、春季における乗客のニーズ等を調査する
- 水陸両用バス冬季運行実験調査(平成23年1月～3月)
 - ◆通年運行に向け、結氷した湖における運行実験を行い、冬季運行の問題点等を調査する
- 川戸地区バス等待合環境整備施設工事
 - ◆水陸両用バスの乗降並びに既存交通機関との乗り換え等を可能とする交通結節拠点の整備を行う

事業実施位置及び実施状況

○事業実施位置



○事業実施状況

